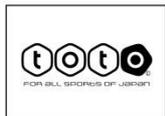




スポーツくじ



スポーツ育成委員会 ボトムアップ事業
ジュニアユース・ライフセービングスポーツクリニック報告書

本スポーツクリニック／記録会は、子供たちにライフセービングスポーツの魅力・技術を伝え、地域のライフセービング人口の拡大を図り、ライフセーバーの育成・競技技術の向上を目的とする。

■概要

- ◇会場 田ノ浦ビーチ（大分県大分市）
- ◇日時 2017年9月16日（土） 13:00～17:15
- ◇助成 スポーツ振興くじ助成事業
- ◇協賛 株式会社 TKS
- ◇協力 日本ライフセービング協会九州支部 大分ライフセービングクラブ
- ◇指導者
田村憲章 （スポーツ育成委員 HPT コーチ）
筒井健裕 （HPT コーチ）

◇クリニック種目・指導内容

- 1. ビーチフラッグス ビーチでの走り方、スタート、フラッグの取り方
- 2. ニッパーボード ニッパーボードの乗り方（ストロークパドル）、スタート
- 3. パドルボード ボードの乗り方（ストローク&ニーパドル）、スタート

◇タイムテーブル

	小学生 中学生・高校生
12:30	受付開始
13:00	開会式
13:15	ウォーミングアップ
13:45	ビーチフラッグス
14:40	ニッパーボード&ボード
15:50	リレー
16:20	閉会式
16:30	終了

■報告事項

◇参加者数（参加 17 名/エントリー 21 名）

No.	クラブ	小学生	中学生	高校生	計
1	大分ライフセービングクラブ	7/7	6/6	3/3	17/17
2	福岡ライフセービングクラブ	0/3	0/1	0/0	0/4
	合計	7/10	6/7	3/3	17/21

◇所感

- ・今年も三洋カップが九州で開催され、クリニックが大分で3回目の開催となり、少しずつ九州にライフセービングスポーツの普及と技術の上達を感じた。
- ・台風の接近による影響で参加クラブが減ってしまった。また翌日に開催予定だった競技会が中止となった。
- ・参加クラブ以外の指導者の参加もあり九州ブロック全体でスポーツを盛り上げていこうとする勢いを感じた。

◇今後の課題

- ・器材の準備・運搬は今後の課題。特にボードはJLAで保有している物はなく株式会社TKSよりボードレンタル・運搬費を協賛していただいている。
- ・クラブのジュニアプログラム運営方法について知りたいと要望あり。
- ・クリニックの盛り上がりが一過性にならないように定期的な練習会や大会の開催が必要。
- ・スポーツを普及するには指導者の育成も必須。

◇記録写真

